

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名		佐賀市立久保泉小学校																
1 前年度 評価結果の概要		・昨年度の共通評価項目及び独自評価項目については、おおむね達成、または、十分達成の結果を得ることができた。 ・今年度は、創立150周年記念行事を予定している。この行事に向けて、児童の出番・役割・承認を行いながら、児童自らが企画・運営に参画できるようにしていくことで、学校の取組や児童の様子を地域へ周知できるように努めたい。 ・職員の取組が徐々に成果として表れ、意識の向上とともに成果が表れてきている。「望ましい生活習慣形成」には、さらに、家庭や地域と連携して取組を進め改善を図っていきたい。																
2 学校教育目標		夢に向かって 共に学び合う 笑顔あふれる 子どもの育成 児 かしこい子（自ら学び考える子、他者と協働し追求する子、豊かに表現する子） 童 やさしい子（思いやりのある子、協働して取り組む子、地域を大切にする子） 像 たくましい子（粘り強く取り組む子、進んで挨拶ができる子、外で元気に遊ぶ子）																
3 本年度の重点目標		〔雁飛字図「めざす15歳の姿」〕 基礎学力を身に付け、自分の進路目標に向かって真剣に努力する。 倫理観、社会常識を身に付け、正しい判断力をもち行動する。 ふるさとに誇りと愛着をもち、社会の一員として自立しようとする。																
4 重点取組内容・成果指標												中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目																		
重点取組												中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言									
●学力の向上	○学習のきまりを身に付け、実践する教育活動	○「学び方について」の学習に関する4項目を守って学習することができたと回答した児童が85%以上。 ○「まなざし週間」での学習の目標を達成できたと回答した児童が80%以上。 ○まなざし週間の実施を通して、家庭での学習が定着してきていると回答した保護者が80%以上	・「学び方について」の指導を粘り強く行う。 ・家庭学習時間の目安を学年の実態に応じて示す。 ・「まなざし週間」の趣旨を啓発する。		・		・		・									
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「ほかほか言葉」を使っていると回答した児童が85%以上。 ○友達には誰とでも分け隔てなく話したり関わったりしていると回答した児童が85%以上。 ○「学校は、思いやりの心や命の大切さを育む心の教育」ができていると回答した保護者が80%以上。	・人権・同和教育の視点に立った授業や「ふれあい道徳」(授業参観)を実施する。 ・全校や学年グループ単位で参加体験型の人権教室・集会を年間4回実施する。		・		・		・									
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの早期発見、早期対応に向けた組織的な取組みができていると回答した教員が90%以上。	・いじめの早期発見、早期対応のための職員研修を実施する。 ・こちらのアンケートやいじめアンケートの結果を全職員で共有し、児童の実態を把握し、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ・いじめを覚知したら、いじめ防止対策委員会を開き、情報を共有し対応する。		・		・		・									
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童が80%以上。 ●「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童が80%以上。 ●「学校は子どもに将来の夢や目標をもたせる」ための活動を行っていると回答した保護者が80%以上。	・様々な機会に教員が意図的に「出番・役割・称賛・承認」を与え児童の自己肯定感を高める。 ・キャリアパスポート等を活用し、毎学期のめあてを設定する。学期の中間・終盤に振り返りを行い、児童自身の成長を確かめさせる。		・		・		・									
●健康・体づくり	②望ましい生活習慣の形成	○基本的な生活習慣「早ね早起き」「朝ごはん」ができていると回答した児童が85%以上。 ○子どもたちが「早ね早起き」「朝ごはん」ができていると回答した保護者が85%以上。 ○「まなざし週間」での生活の目標を達成できたと回答した児童が85%以上。	・日々の健康観察で「早ね早起き」や「朝食の喫食」を確認し意識させる。 ・「まなざし週間」に基本的な生活習慣をチェックする項目を設定し、家庭でも児童の生活習慣を振り返る機会を設け、改善につなげる。		・		・		・									
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上。	・年間の業務を見直し、繁忙期の業務の協働体制・データの共有を進め、時間外在校等時間を短縮する。 ・定時退勤日には、出勤時に退勤予定時刻を示し、効率よく業務を進める意識を高める。		・		・		・									
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の更なる向上	○特別支援教育に関する専門性が向上した教員が85%以上。 ○「学校は、配慮が必要な子どもたちへの支援を協力して行っている」と回答した保護者が80%以上。	・児童支援会議を毎月実施し、支援が必要な児童の共通理解と支援の充実を図る。 ・特別支援教育の職員研修を計画的に実施し、職員一人一人の専門的理解を深める。		・		・		・									
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目																		
重点取組												中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言									
○特別活動	○児童の自信を高めることができる話し合い活動と振り返りの充実	○学級会の話し合い活動を肯定的に感じた児童が85%以上。 ○児童が自信をもって自分の思いや考えを表出できるよう手立てを行ったと回答した教員が85%以上。	・特別活動の校内研究を一層充実させ、相互に研究授業を参観し、学期ごとに報告会を行い、指導方法の工夫・改善に努める。 ・構成的グループエンカウンター(SGE)を行い、児童の人間関係づくりを支援する。		・		・		・									
◎地域連携	◎ふるさとよさに気付き、愛着の深化 ◎創立150周年行事への参画意識の向上	◎地域の「人、もの、こと」に対する関心が高まり、地域を再発見したと回答する児童が90%以上。 ◎地域の「人、もの、こと」に関わる活動を進めることができたと回答する教員が90%以上。	・総合的な学習の時間のねらいを職員全体で共有し、ふるさとに根ざした学習活動を展開する。 ・学習や行事に地域の人が積極的に参画できる計画を立てる。運営協議会の委員と話し合う場をもち、情報を共有しながら内容を吟味し、実践する。		・		・		・									
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育																		
5 総合評価・次年度への展望		・ ・ ・																